

陶磁器釉薬技術研究会

【目的】

笠間焼産地内では釉薬の理論を学ぶ機会が少なく、独学の勉強では限界があるという声をよく聞きます。また、釉薬の理論の基礎的な部分だけでも短時間・短時間で学びたいという要望も多くあります。本研究会は、釉薬の開発や改良に役立つ基礎知識の修得をねらいとした勉強会を実施し、とくに若手陶芸家の釉薬に関する技術力の向上をめざしています。

【内容】

平成 29 年度は表 1 のとおり研究会を 6 回開催しました。終了後、会員 9 名にアンケートをお願いしたところ、「オリジナルの釉薬を開発する自信がついた」、「問題を抱えていた釉薬の改良に活かしたい」、「あいまいな知識を減らし、正確な知識を増やすことができた」、「以前から疑問だったゼーゲル式を理解できた」など、新釉薬の開発や既存釉薬の欠点改善などにつながることで期待できる感想が多く寄せられました。

表 1 研究会日程と概要

回	日程	参加者	テーマ
1	6月12日(月)	6名	釉薬調合の基本, 釉薬原料の分類と特徴, 三角座標
2	7月6日(木)	9名	釉薬を学ぶための化学基礎知識
3	8月2日(水)	7名	ゼーゲル式やゼーゲル座標の見方・考え方
4	8月30日(水)	9名	ゼーゲル計算1 (原料配合比からゼーゲル式を算出する)
5	9月13日(水)	9名	ゼーゲル計算2 (ゼーゲル式から原料配合比を算出する)
6	9月27日(水)	9名	釉薬の欠陥の原因と対処方法, 陶磁器素地の物性と試験方法



図 1 研究会の様子

【今後の予定】

平成 30 年度も本研究会を継続する予定です。より本格的に釉薬の知識や技術を修得したい方を対象とした研修（レディメイドコース、オーダーメイドコース）も実施しております。釉薬に関するお悩みのある方は、まずはお気軽にご相談ください。

基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

工芸・材料技術部門 部門長 寺門 秀人 TEL:0296-72-0316
主任研究員 吉田 博和